ぶらり 諏訪塾 ㊽

高島藩主の祖が眠る

安国寺御廟所

茅野市安国寺区の東洋精機左横に、こんもりとした林が目に入ります。ここは「安国寺御廟所」で覆屋の中に高島藩諏訪氏の祖・諏訪満隣の墓碑を中心に左に夫人、右に兄・頼隆の供養塔が建てられています。満隣は天文11（1542）年に武田氏に滅ぼされた諏訪頼重の叔父で頼満の子に当たり、仏門に入り竺渓斎と号して諏訪氏再興の道を切り拓いた人物です。

諏訪惣領家当主の頼重自害で滅亡の危機の時、諏訪氏の血脈を守ろうとして頼豊、頼辰の二子を武田方に仕えさせました。しかし、それぞれ討ち死。満隣は40年安国寺や湖南の竜雲寺に潜みました。武田氏の滅亡後、織田信長が本能寺で討たれると好機到来を見抜き、次男頼忠を決起させて茶臼山城を落としました。諏訪氏再興の道を切り拓いたのです。それを見届けるかのように天正10（1582）年、満隣は没します。

その後、上野国総社（群馬県）に移っていた諏訪氏は頼忠の子頼水が家督を継ぎ徳川側の東軍に加わり真田昌幸を攻めました。勝利するには至らなかったといいますが、関ケ原の戦いは東軍が勝利し、その武功により頼水は諏訪を与えられます。以後諏訪氏は明治維新まで高島藩主として諏訪を治めたのです。

苦節40年、僧侶に身を変え陰から諏訪氏の再興を目論んだ歴史の記憶を満隣の墓碑は語っています。

＝随時掲載

詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局（電話070・8323・2107）へ。

高島藩諏訪氏の祖・諏訪満隣（みつちか）の墓碑と夫人、兄の供養塔が建てられている安国寺御廟所

ぶらり諏訪塾の冊子は
・諏訪市観光案内所（JR上諏訪駅内）
・れすとらん割烹いずみ屋（諏訪市諏訪）
・書店「言事堂」（諏訪市末広）
・すわ大昔情報センター（諏訪市博物館内）
・諏訪書店（通販のみ 57・0997）
・柏屋カフェ&ギャラリー（諏訪市中洲神宮寺）
で販売中です。

今回の筆者

涌井みち子さん

立川流建築彫刻研究者でスポーツインストラクターとしても活動しています